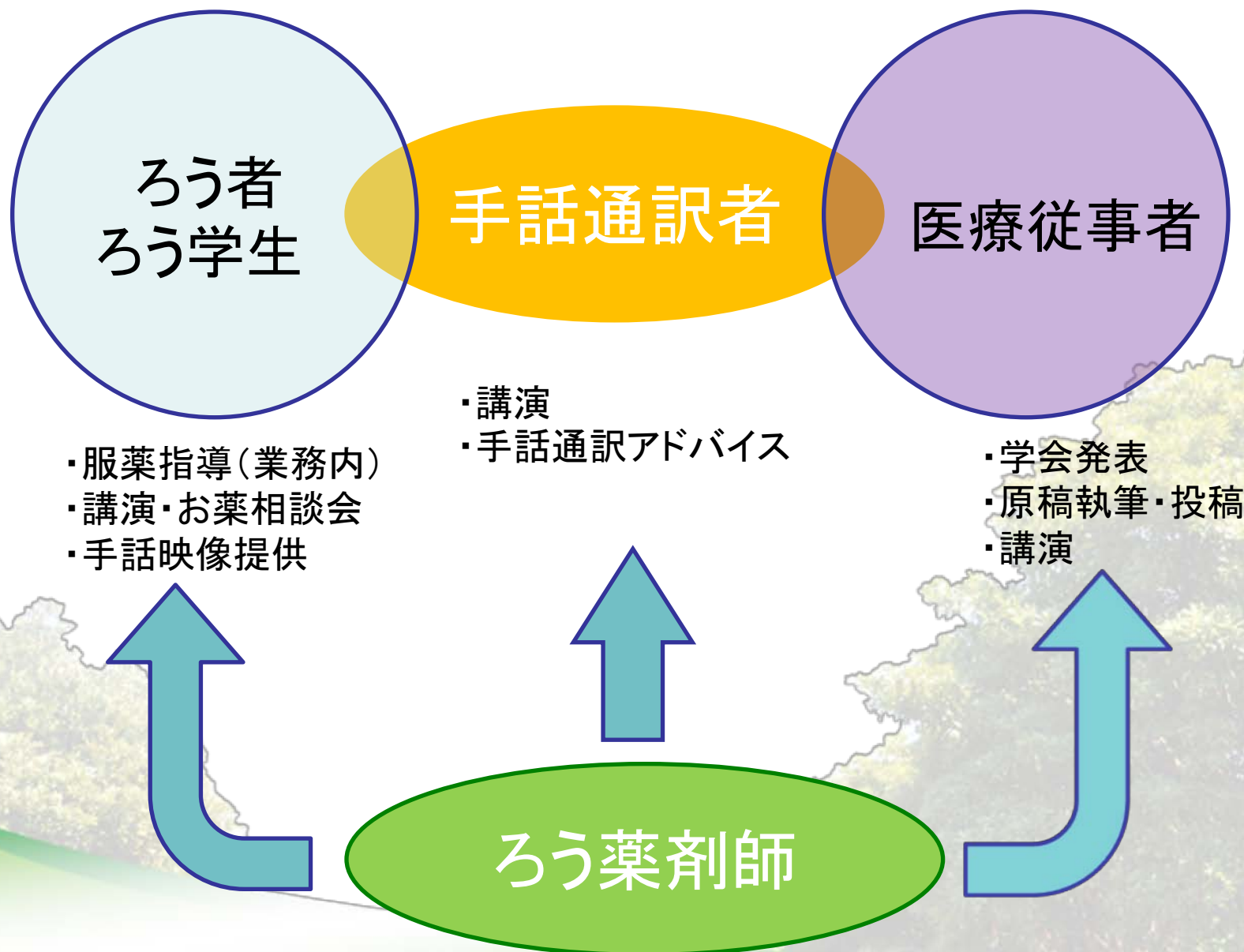


「手話医療通訳(仮称)に必要なこと」 ～ろう薬剤師の視点から～

2018年9月

薬剤師 柴田 昌彦

現在の私の活動



「医療・お薬相談会」 の経験から



相談者の状況

- A 基本的な病識を含めほとんど指示、説明が伝わってない、相談できていない。
- B 病識はあるが、薬の効用・併用・副作用などへの不安を相談できていない。
- C ある程度コミュニケーションはとれているが、不安があるために相談に来ている。
- D その他

相談者状況の内訳



全52例中 47例
90.3%
病識・薬の情報不足や不安に関し相談ができないままだった例

（大熊 2017「ろう者に対する日本手話による服薬支援の重要性」 一部改変

https://www.nipro-es-pharma.co.jp/product/trend/contents201805_1.html 2018.9.8アクセス）

博士論文から引用

Q.手話通訳制度へどのような不安があるか（複数回答）

- 緊急時に手配が間に合わない 65% (87名)
- プライバシーが守られるか心配である 50% (67名)
- 手話通訳者の技術が心配である 42% (56名)
- 制度がわかりにくい 33% (44名)
- 症状を知られるのが恥ずかしい 32% (43名)
- 手話通訳者の手話がわかるか心配である 5% (6名)

（母数は手話通訳制度への不安があると答えた132名）

（阿部 2014「医療機関における聴覚障害者の手話通訳支援に関する研究」

file:///C:/Users/Masahiko%20Shibata/Downloads/DA06754.pdf 2018.9.8アクセス）

年齢別

Q.手話通訳者の技術が心配である

全体42% (56名) (n=132の複数回答の中で)

10-20代	30-50代	60代以上	X ² 値
34% (15名)	57% (33名)	26% (8名)	9.3 p<0.01

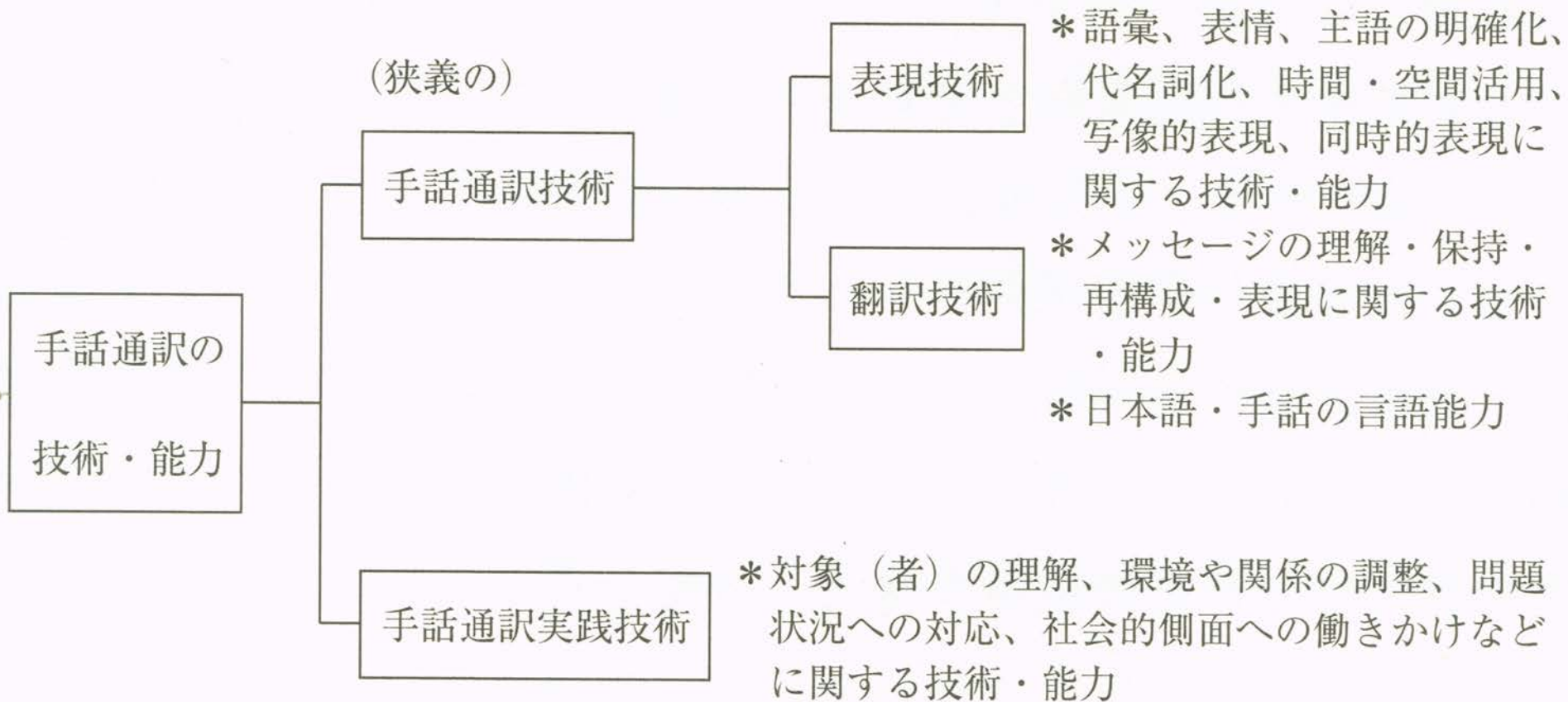
手話医療通訳(仮称)に医療
知識は必要でしょうか？

「手話通訳学」入門 改訂版より

- 「狭義の手話通訳を行う場合、通訳する内容(社会、文化、教育、労働、医療、司法等)についての知識がなければ通訳できません。」
- 「翻訳はそれぞれの語彙や文の意味が正しく理解された上で、一方から他方へメッセージの質と量を落とさずに変換する作業です。」

(林 2017)





(手話通訳士養成指導者養成員会 1998 「手話通訳の理論と実践」)



しかし、現場の通訳者の中には・・・

- 「私は通訳者。医療用語が分からないのは当然。医師に一つ一つ確認してから説明すればよい。医師は通訳者にも丁寧に説明する義務がある。」

→こう主張する通訳者もいます

また、「知識は必要」の解釈の仕方には
注意が必要です

- 「知識が必要」→単語の手話表現をチェックして、それで終わっていませんか？
- 「出てくる医療用語の表面的な把握」だけで終わっていませんか？

これだけでは、ろう者に伝わる
手話表現(言語通訳)が出来ません

なぜ、手話医療通訳者に医療知識が必要か？

- ① **日本語⇔日本手話**のスムーズな通訳のため
(特に高齢ろう者など日本手話が第一言語
のろう者に対して)

「ろう者の思考」に沿った通訳をするには医療用語を図でイメージすることが欠かせません

- ② **ヘルスリテラシーの高いろう者**の通訳のため
(IT機器を活用しているろう者や
ろう医療従事者に対して)

私が手話通訳者対象の講義で よく取り上げている内容

ちょっとした知識と表現の工夫の話をしています

ろう者の事例（動画）

- 下痢時に下剤を屯用
- お薬手帳の複数所持
- ビスフォスフォネート剤服用後に直立不動

ろう患者への服薬指導及び相談から見出した事例

- 「飲まなければならない」
- 「新しい薬を出します」

Q.この薬はどのように塗りますか？



通訳現場の同席で見出した事例

- 病名の省略(「下垂体機能低下症」など)
- 「痛いところはどこですか？」(未就学ろう者に
対して)→「ろう通訳」が必要



その他お話ししている事例

- 「検査当日は朝から水分はとらないでください」
- 薬剤の中止指示が伝わっていない
- 問診で診断できるところを検査にまわされていることも
- 「寝る前」などの日常用語でも・・・

柴田が経験したヒヤリ・ハット

- 「食後に薬を飲んでください」の手話表現はどうしますか？

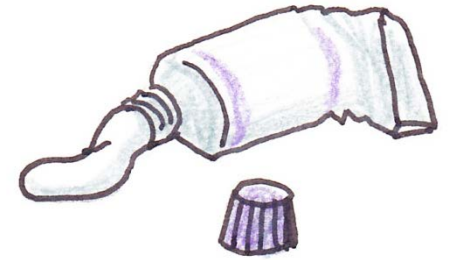
対象ろう者：70代、日本手話話者
情景豊かな手話表現

塗り薬について知っておきたいこと

「塗り方」は色々あります

(例)

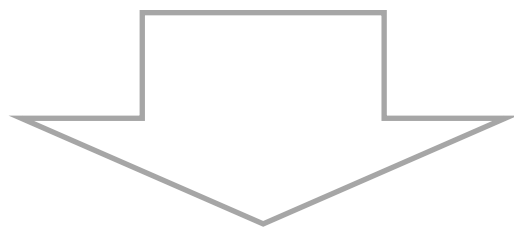
- うすく広く塗る
- 部分的に塗る
- もみほぐすように塗る
- 患部より1cm周囲に塗る など



- **塗り方を確認してから通訳しましょう**
(通訳者があらわした塗り方をろう者はしてしまいます)

「〇〇の薬です」はこう言い換えてみよう

〇〇〇〇 の 薬



症状

薬

どうなる

「〇〇の薬です」はこう通訳してみよう

- ①便秘の薬です
- ②下痢の薬です
- ③高血圧の薬です
- ④低血圧の薬です
- ⑤痰の切れを良くする薬です

薬剤師レベルの知識があれば、 もっと具体的に表現出来ます

- 便秘薬
- 高血圧薬
- 去痰薬

「便秘薬が2種類出ているけど、なんで？大丈夫なの？」という質問が出た時にそういった話をします。

通訳者との議論の中で①

- 「医師の言ったことをそのまま通訳するのが通訳者。医師が言っていない言い方に通訳することはできない」

→医療知識以前に、「言語通訳」というものを通訳者が正しく理解していないのではないか。

例)「産婦人科に行ってください」

→「産婦人科」という言葉が分からないろう者に

「女性のおなかの中に赤ちゃんが出来た時に
行く病院」

と通訳者が訳したらダメなのか？ 医師
に一つ一つ言い直させなければならないものな
のか？

通訳者との議論の中で②

- 「ろう者は通訳者よりも知識が少ないから、通訳者がわからないこと＝ろう者もわからない。従って聞き返すのは問題ない。」

ろう者＝知らないと決めつけていないか？

- ・日本手話でなら知っているケースもある
- ・ろう医療従事者もいる

知識量について

専門家＞ろう患者＞＞通訳者 のケースも
めずらしくはありません

通訳者との議論の中で③

- 「声を出しながら通訳しなければならない。何故なら、間違った通訳をしたときに医師が訂正してくれるから。声なしでは間違ったまま通訳してしまう恐れがある。」

→声付きの手話はろう者にとって非常に見にくい。相手に伝わっていないければ通訳の意味がない。

知識があれば自信をもって声なしの手話
(本来の手話)で表せるのではないか

「通訳できそうだ」と信頼を寄せるには

- ろう者の視点→ 手話がうまいかどうか
ろう文化を理解しているかどうか
- 医療従事者の視点→ 医療知識が十分かどうか
医療文化を理解しているかどうか

医療従事者から信頼を得るためにも、
やはり知識は必要です

なぜ、手話医療通訳者に医療知識が必要か？

- ① 日本語⇔日本手話のスムーズな通訳のため
(特に高齢ろう者など日本手話が第一言語
のろう者に対して)

「ろう者の思考」に沿った通訳をするには医療用語を図でイメージすることが欠かせません

- ② **ヘルスリテラシーの高いろう者**の通訳のため
(IT機器を活用しているろう者や
ろう医療従事者に対して)

若いろう者とろう薬剤師に聞いてみました

	子育て中の一般 ろう者(8名) 	ろう薬剤師(8名) 
病院に通 訳は	頼まない(全員) ※学校行事には頼む (全員)	頼む(1名) 頼まない(7名)
主な理由 は？	急な時が多いから	通訳者の知識に不安があるから 自分に知識があるから筆 談で十分
頼みたいと きは？	大きな病気や入院の 時は頼みたい	自分の知識レベルを超え た病気の時に頼みたい

(2018.8 LINEでヒヤリング)

若いろう者とろう薬剤師に聞いてみました

	子育て中の一般 ろう者(8名) 	ろう薬剤師(8名) 
病院に通 訳は	頼まない(全員) ※学校行事には頼む (全員)	頼む(1名) 頼まない(7名)
主な は？	必要とされるときは、「風邪」といった 軽い病気の時でないことが分かります	
頼みたいと きは？	大きな病気や入院の 時は頼みたい	自分の知識レベルを超え た病気の時頼みたい

(2018.8 LINEでヒヤリング)

どのような学習の内容が必要か

- 医療知識を日本手話で、ろう者の思考で学ぶ環境が必要！！

（例えば、日-英通訳者は、英語と日本語の両方で医療知識を学べる環境がある）

- 人体図などイラストを多く取り入れる必要がある。（「ろう者の思考」が定着するまで繰り返し読み解く必要がある。）
- 聞き取り、読み取り通訳の評価にろう医療者と手話通訳士の聴医療者の参加が必要

MSHCI(米国Rochester) 医療専門手話通訳養成大学院

(<https://www.ntid.rit.edu/aslie/mshci/personnel> 2018.8.26アクセス)

R·I·T
Rochester Institute of Technology

Directories

National Technical Institute for the Deaf

[Request Information](#) [Contact Us](#) [NTID Directory](#)

About NTID

Admissions

Academics

Campus Life

Center on Employment

Alumni

Parents

Giving

Undergraduate Programs ▼

Graduate Programs ▼

Interpreting Program

Access & Support Services ▼

Cooperative Education

Rosica Hall

HOME > ACADEMICS > PROGRAMS > ASLIE >

MSHCI Program Overview

ASLIE

PROGRAM OPTIONS

Bachelor's Degree Program

Certificate in Healthcare Interpreting

Master of Science in Health Care Interpretation

- ▶ Application Requirements
- ▶ Curriculum
- ▶ Course Descriptions
- ▶ Program Personnel
- ▶ Cost and Financial Aid

The master of science degree program in health care interpretation (MSHCI) is designed to meet the demands of nationally certified sign language interpreters desiring a master's degree specific to working in health care environments. The National Technical Institute for the Deaf's Department of American Sign Language and Interpreting Education administers the program. RIT's College of Health Sciences and Technology (CHST) collaborates by offering three courses within the MSHCI program. This unique program:

- Meets the growing demand for specialized sign language health care interpreters as more deaf and hard-of-hearing professionals enter medical/health care fields.
- Increases the number of specialized sign language interpreters working in patient health care settings.
- Prepares interpreters to work in leadership/administrative roles in the health care interpreting field.

The program requires the completion of 23 credits with 11 required courses (2 credits each). The program can be completed in one



まとめ

手話医療通訳(仮称)に必要なこと

- まず、手話通訳者自身が医療の知識を必要と認識すること
- 日本語だけでなく、日本手話で医療の知識を学ぶ環境があること

聴医療従事者+ろう通訳を利用する方法も
可能なのでは？

私に出来ることは協力します

(参考) 医師や病院と手話通訳の共通の課題、共通の要求

- ①患者自身が健康や病気に対する知識を持っていないか。そのための機会や条件は聴覚障害者に保障されているか。
- ②手話通訳者は医学用語が正確に通訳できるか。そのための研修や研究の場は保障されているか。
- ③医療機関は医師と患者の対話が十分であって信頼関係が出来ているか。医療体制のなかで十分な対話出来る時間の保障があるか。
- ④病院に聴覚障害者のコミュニケーション保障を担うスタッフや体制が整っているか。

(手話通訳士養成指導者養成委員会 1998 「手話通訳の理論と実践」)

